慶應義塾大学学術情報リポジトリ
Keio Associated Repository of Academic resouces

Title	編集後記
Sub Title	
Author	法学研究編集委員会(Hogaku kenkyu henshu iinkai)
Publisher	慶應義塾大学法学研究会
Publication year	1977
Jtitle	法學研究 : 法律・ 政治・ 社会 (Journal of law, politics, and sociology). Vol.50, No.8 (1977. 8) ,p.101- 101
JaLC DOI	
Abstract	
Notes	追悼記事
Genre	Article
URL	https://koara.lib.keio.ac.jp/xoonips/modules/xoonips/detail.php?koara_id=AN00224504-19770815-0101

慶應義塾大学学術情報リポジトリ(KOARA)に掲載されているコンテンツの著作権は、それぞれの著作者、学会または出版社/発行者に帰属し、その権利は著作権法によって保護されています。引用にあたっては、著作権法を遵守してご利用ください。

The copyrights of content available on the KeiO Associated Repository of Academic resources (KOARA) belong to the respective authors, academic societies, or publishers/issuers, and these rights are protected by the Japanese Copyright Act. When quoting the content, please follow the Japanese copyright act.

編集後記

昭和五二年五月一七日、中村菊男先生がその五七年の生涯を閉じられた。法学部政治学科の最先任現役教授であった先生の急逝によって、学問的、精神的支柱を失ったわれわれの悲しみは誠に大きい。

先生は、昭和一八年慶應義塾大学をご卒業後直ちに法学部に残られ、爾来三〇余年にわたって義塾の教鞭をとってこられた。ご専攻が政治学、日本政治史という政治学科にとっての基本的分野であったから、現在義塾に奉職する学究の中にも、また社会の各分野で活躍している卒業生の中にも、先生の教えを受ける機会をもった者の数は非常に多く、中村菊男政治学の残した影響はきわめて大きい。堂々たる風格と、独特のポーズで、大きな声で理路整然と説かれる名講義は実に活気に溢れ、政治学科の看板講義の名に恥じぬものであった。

教師として第一流であるとともに、先生は学者としても誠に数多くの業績を残された。「政治学」、「政治心理学」、「現代政治の実態」、「政治文化論」、をはじめとする多数の著書、論文の中に、われわれは、欧米政治学の直輸入でない、日本の土壌に根ざした政治学を求めて努力された先生の苦心と、その成果たる輝かしい業績を読みとることができる。

先生の実力、人格は、学外においても広く知られるところであった。空理空論を嫌われた先生は実態としての政治を求めてしばしば政治の現場に出て行かれたし、またわが国における民主社会主義運動のブレーンとして精力的に活躍された。さらに多数の啓蒙書やテレビ、ラジオ等を通じて、政治の何たるかを説き、国民の多くに親しまれてきたことも、忘れることのできない先生の一面であった。

このように、着実な日本政治史の研究の中で、また御自身も経験された実際の政治、生きた政治との絶えざる接触を通じて、先生は早くから外国と異なる日本の政治の独自性に注目され、その探究につとめてこられてきたが、さらにこの研究を深められようという大切なときに、先生は突如として逝かれた。誠に惜しみて余りある先生の死であるが、われわれ後進としては、先生の育てられた学部と政治学の伝統を守り、その一層の充実と発展のため努力することによって、先生の学恩に万分の一でも報いることを誓うものである。

最後に先生のために本号に追悼の記事を寄せられた諸先生に感謝申し上げ、重ねて先生のご冥福をお祈りする次第である。

法学研究編集委員会